

カリキュラム

機構施設名： 和歌山職業能力開発促進センター
実施機関名： パナソニックエレクトリックワークス創研株

(B)組織マネジメント	生産現場の問題解決
組織力強化	

コースのねらい	生産管理を理解し、生産現場の問題発見、解決できる知識・技能を習得する
---------	------------------------------------

講義内容	「基本項目」		「主な内容」	訓練時間(H)
	1	生産活動の基本	(1)企業経営とは ・日本のものづくりを取り巻く環境変化と企業が果たすべき役割と活動意義について説明し、ものづくり活動を進める上での基本的な考え方について解説する。 【演習】自社について考える。(セルフワーク/グループ討議) (2)生産現場の問題とは ・問題とは何か、問題と課題の違いを説明し、データに基づく問題発見や課題解決を行うための改善手法(ロジカルシンキング)について解説する。 ・生産現場における問題について、QCD+S視点の切り口で解説する。 【演習】問題分析手法 (セルフワーク/グループ討議)	2.0
	2	現状分析とムダの発見	(1)ムダとは何か ・生産現場において改善すべきムダとは何か、7つのムダと3ムの切り口で解説する。 【演習】現場のムダに気づく (セルフワーク/グループワーク) (2)現場の見える化 ・生産現場における見える化とは何かについて説明し、見える化するために有効な手法である5Sの基本と進め方について解説する。 (3)ムダの改善方法 ・IE手法を活用する目的・メリットを説明し、ムダな作業の抽出方法と具体的な改善方法について解説する。 【演習】ムダ、ロスを取る事例 (セルフワーク/グループワーク)	2.0
	3	生産現場の改善	(1)改善の手順 ・現場改善の着眼ポイントと実践の仕方について解説する。 (2)効果的な改善のためのポイント ・継続的な改善のために、QCストーリーを用いて改善のステップアップを図る考え方について解説する。 【演習】QCストーリーによる改善 (セルフワーク/グループワーク)	2.0
合計時間				6.0

カリキュラム作成のポイント
生産管理とは何かを知り、自職場における問題を見つける力をつけるとともに、現状分析手法・改善手法を習得し、自らが自発的にものづくり現場に おける問題解決を通じて生産性向上を図れるよう、演習を通じて学べる研修内容にしました。

訓練に使用する機器等			
●機器・ソフトウェア(受講者用)		●機器・ソフトウェア(講師用・その他)	
・筆記用具・電卓(スマホ可)		・講師用PC(持参)	
●使用するテキスト		●その他	
・自作テキスト(配布資料含む)			

利用事業主に用意を求める機器等	備考
・プロジェクター、スクリーン ・ホワイトボード (マーカーペン黒・赤)	